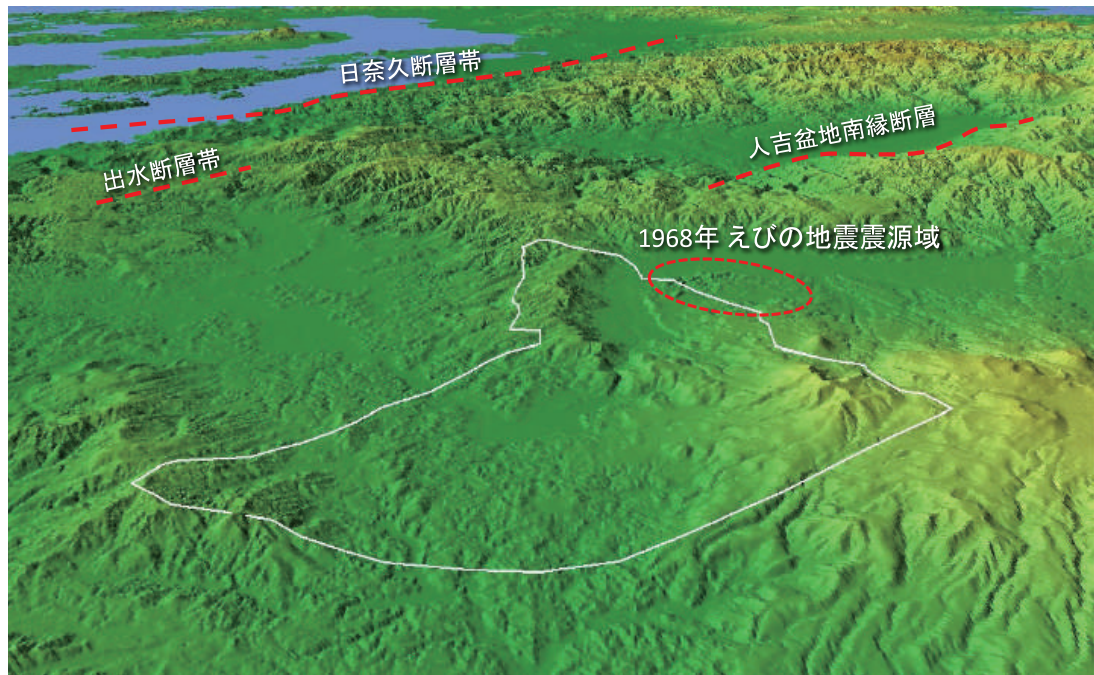


湧水町揺れやすさマップ

— 鹿児島県による予測震度分布 —

湧水町の周辺で想定される地震

- 南海トラフ沿いの巨大地震が近い将来発生する可能性が高いと考えられています。湧水町では、震源からは比較的離れていますが、地震が発生した場合には最大で震度6弱の大きな揺れが予想されています。
- 宮崎県の県境付近を震源域として、1968年2月1日にえびの地震（マグニチュード（M）6.1）が発生しています。この地震では、旧吉松町で震度6を記録し、鹿児島、熊本、宮崎の広い範囲で甚大な被害が生じています。
- 湧水町の北方にはいくつかの活断層が存在しています。発生する確率は小さいですが、活断層の活動により起こる直下型の地震にも注意が必要です。



鹿児島県による地震想定

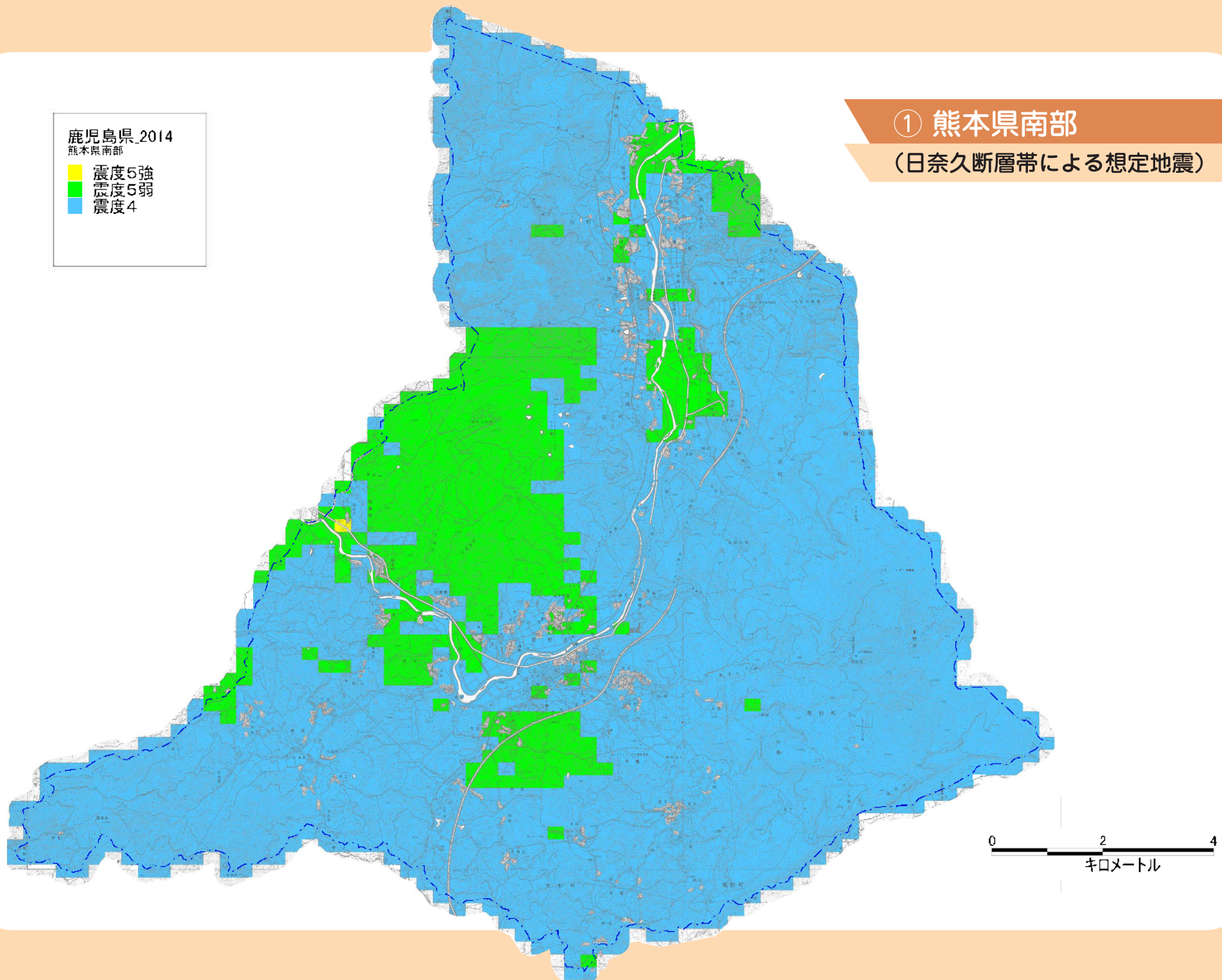
鹿児島県が平成25年3月25日に公表した『鹿児島県地震等災害被害予測調査中間報告』では、発生頻度は極めて低いですが、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの地震として、活断層を震源とした地震も想定されています。報告の中で、湧水町に大きな影響がある地震の震源として想定されたのは、① 熊本県南部の沿岸部から北東方に分布する『日奈久断層帯』、② 出水市付近に分布する『出水断層帯』、③ 人吉盆地の南部に分布する『人吉盆地南縁断層帯』および④ 南海トラフの巨大地震で、想定される地震の発生に伴って、耐震性が低い建物の一部は半壊から全壊被害を受ける可能性があります。家の中の地震対策とともに、お住まいの耐震性について、確認をお願いします。

地震の震度と揺れなどの状況

震度0 ● 人は揺れを感じない。	震度1 ● 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がある。	震度2 ● 屋内で静かにしている人の大半が揺れを感じる。	震度3 ● 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。		
震度4 ● ほとんどの人が驚く。 ● 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ● 壁の悪い置物が、倒れることがある。	震度5弱 ● 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ● 棚にある食器類や書棚の本が落ちることがある。 ● 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	震度5強 ● 物につかまないと歩くことが難しい。 ● 棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。 ● 固定していない家具が倒れることがある。 ● 補強されていないブロック塀が崩れることがある。	震度6弱 ● 立っていることが困難になる。 ● 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ● ドアが閉かなくなることがある。 ● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ● 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。	震度6強 ● はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ● 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。 ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多い。 ● 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。	震度7 ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものがさらに多くなる。 ● 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くものがある。 ● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

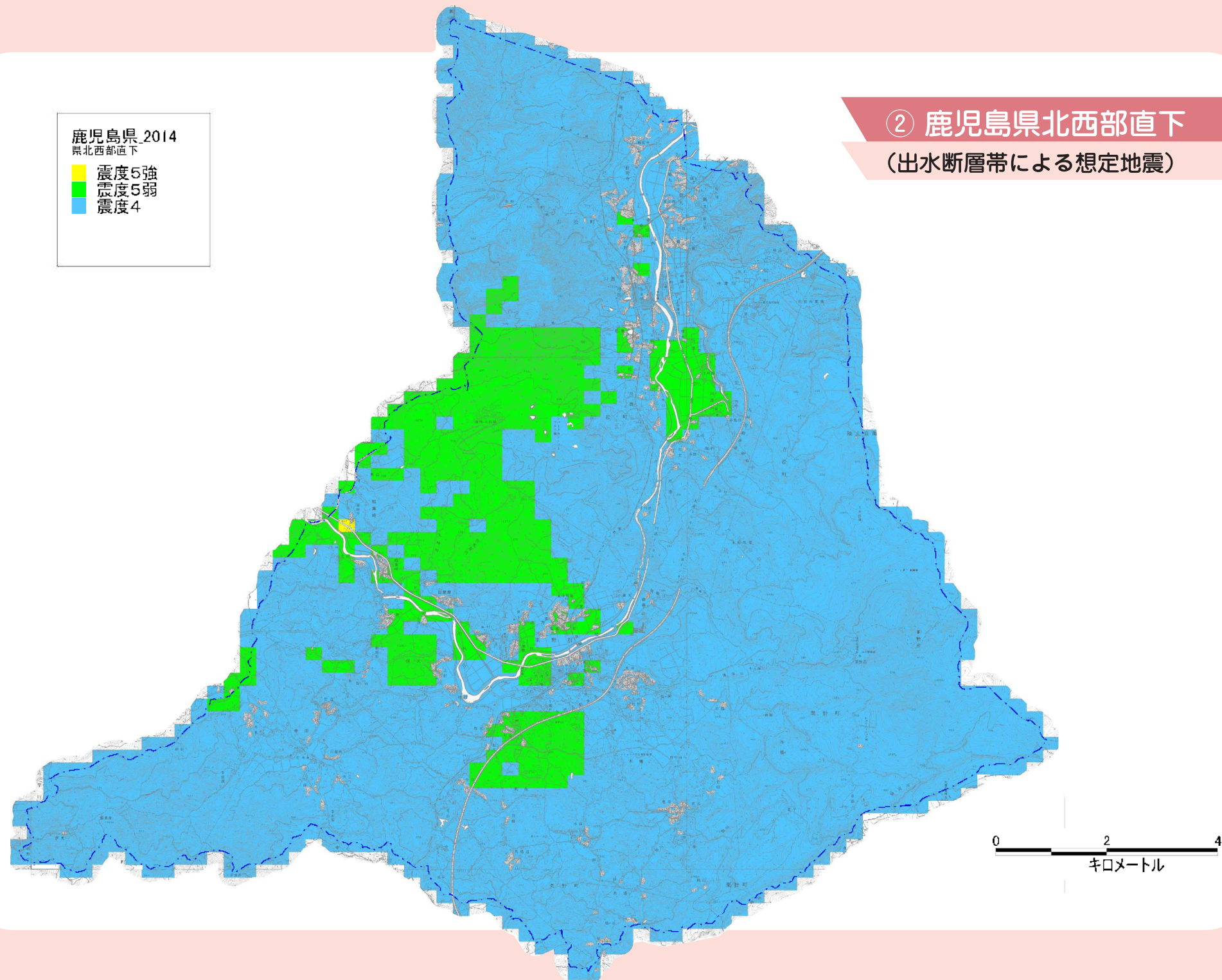
① 熊本県南部

（日奈久断層帯による想定地震）



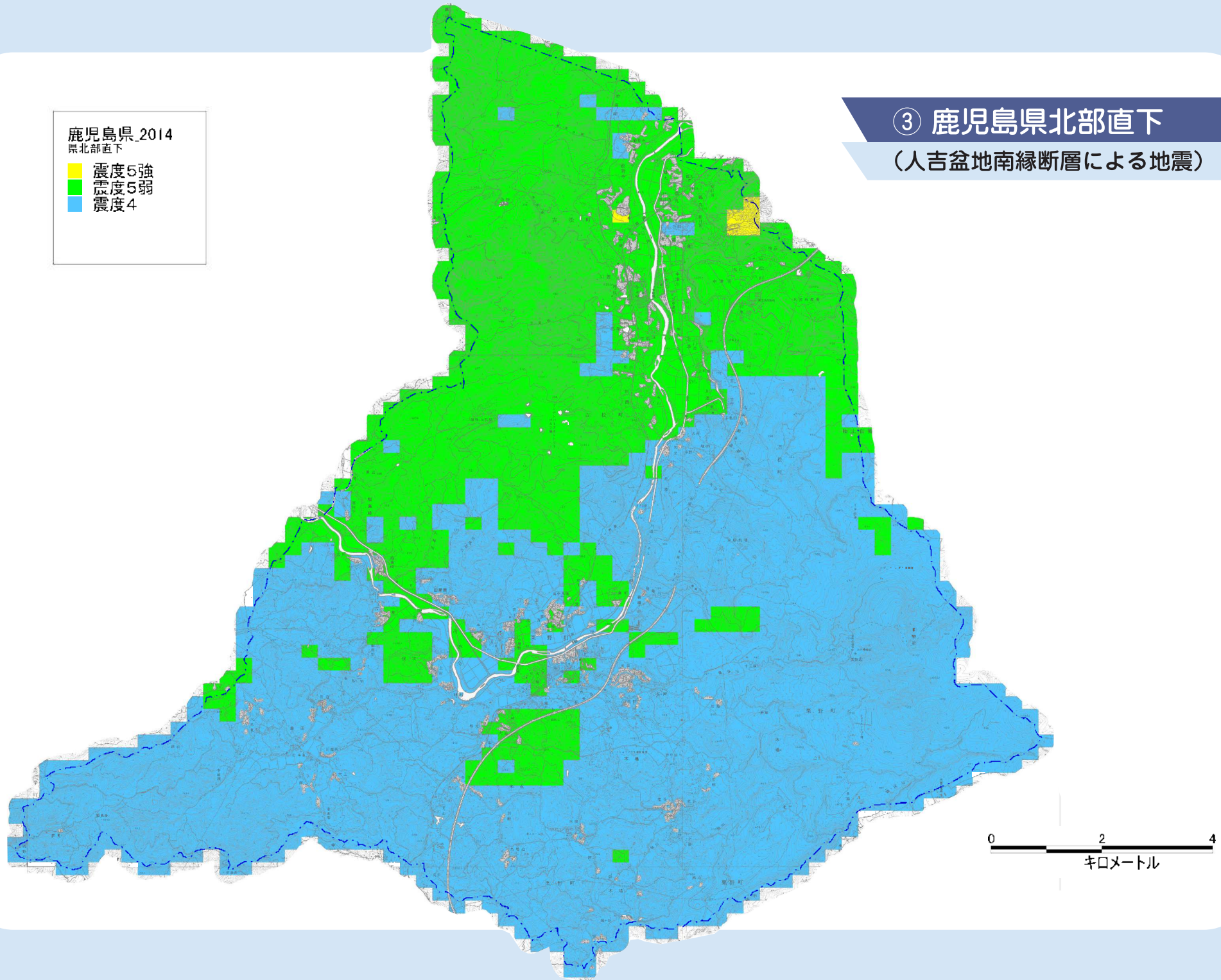
② 鹿児島県北西部直下

（出水断層帯による想定地震）



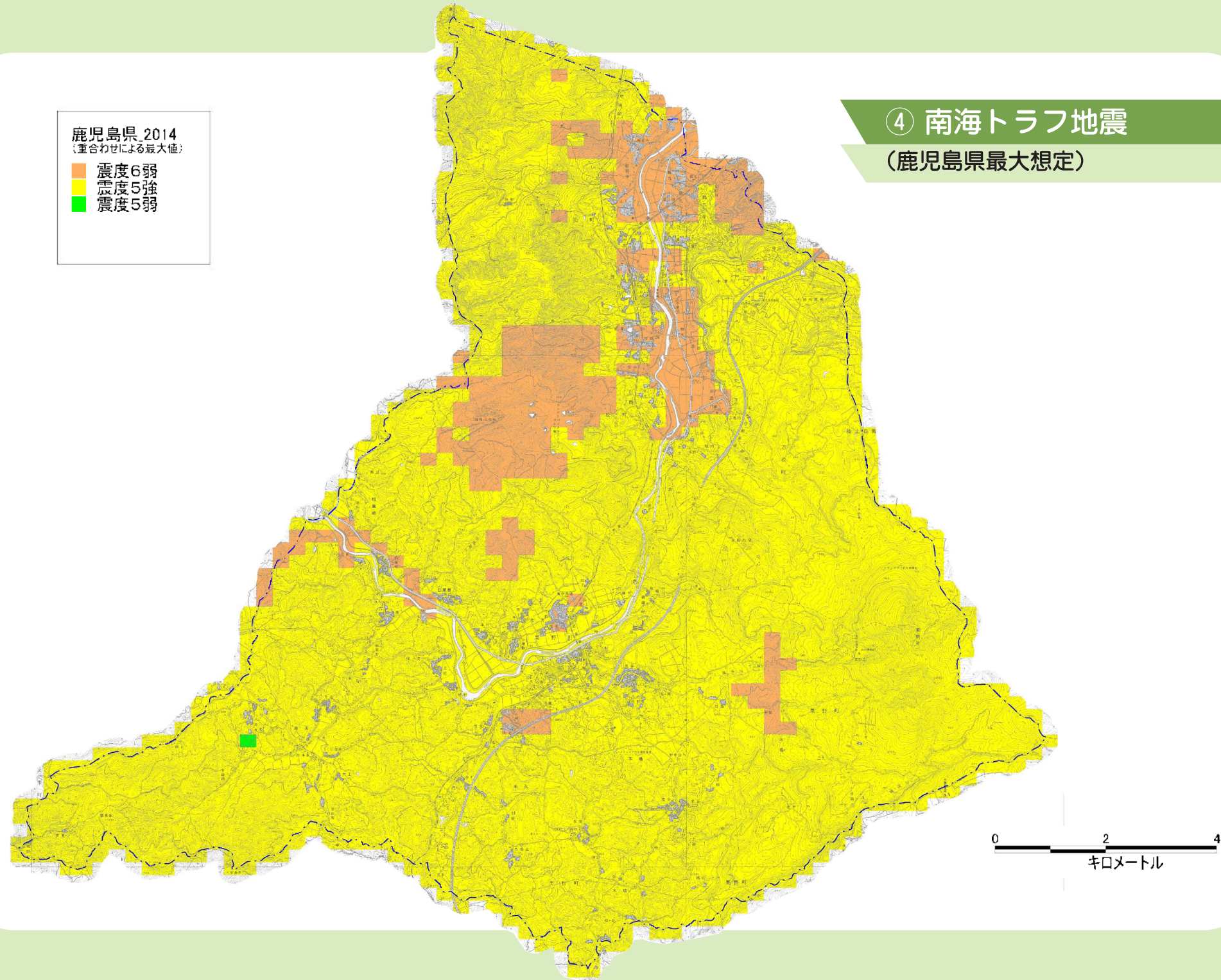
③ 鹿児島県北部直下

（人吉盆地南縁断層による地震）



④ 南海トラフ地震

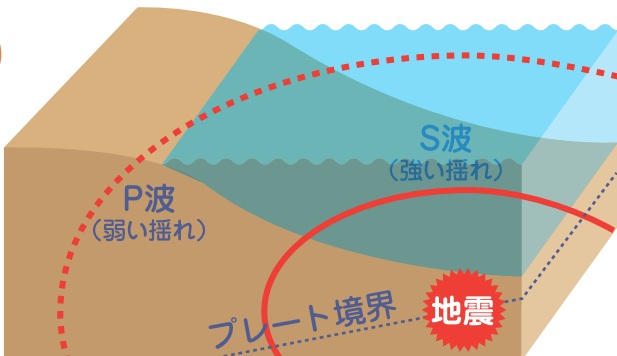
（鹿児島県最大想定）



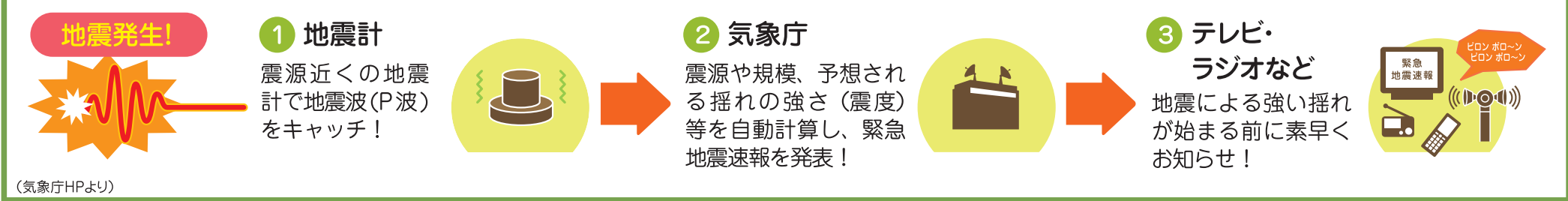
緊急地震速報に注意しましょう



地震発生直後に震源に近い地震計で観測されたデータを即時に分析し、各地での強い揺れが始まる前に到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報として、気象庁が発表する**緊急地震速報**があります。強い揺れの前に、自らの身を守ったり、自動車のスピードを落としたら被害を出来るだけ少なくしましょう。



緊急地震速報の流れ



緊急地震速報を聞いたら……

● 家の中にいたら？

家庭では頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れてください。あわてず外に飛び出さないでください。無理して火を消そうとしないでください。



● 家の外にいたら？

街中では、ブロック塀の倒壊などに注意してください。看板や割れたガラスの落下に注意してください。



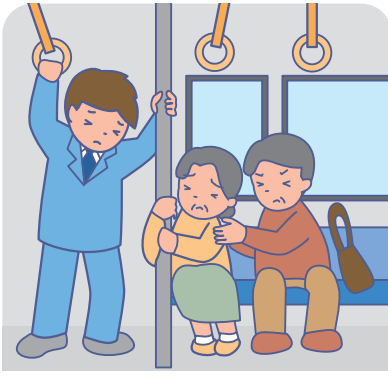
● 人が大勢いるところにいるら？

人がたくさんいる施設では施設の係員の指示に従ってください。落ち着いて行動し、あわてず出口に走り出さないでください。



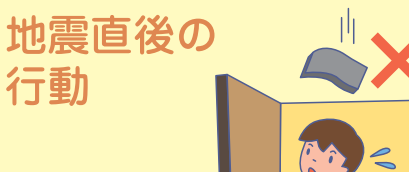
● 電車・バスに乗っていたら？

急ブレーキにそなえて、手すりなどにしっかりとつかまってください。



地震発生時の行動

地震が起きても、冷静に対応できる様に、どのように行動したらよいかを覚えてきましょう。



① 地震だ！まず身の安全

- 緊急地震速報を受けたり揺れを感じた時は、身の安全を最優先に行動しましょう。
- 丈夫なテーブルの下に潜るなどの安全行動をとり、揺れが収まるまでごかないようにしましょう。
- 自動車を運転中の場合は、慌てず、路肩に停車しましょう。

② 火の元確認 初期消火

- 火を使っているときは、揺れが収まってから、あわてず火の始末をしましょう。
- 出火したときは、落ち着いて消火しましょう。（危険を感じたら、決して無理には消火せずに避難しましょう。）

③ あわてた行動 ケガのもと

- 転倒・落下した家財やガラスの破片などに注意しましょう。
- 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるのであわてて外に飛び出さないようにしましょう。

④ 窓や戸を開け 出口を確保

- 揺れが収まったときに避難ができるように、窓を開けるなどして出口を確保しましょう。

⑤ 門や塀には 近寄らない

- 屋外で揺れを感じたら、自動販売機や看板、ブロック塀などには近寄らないようにしましょう。

⑥ 安全に避難

- 延焼等により身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所に避難しましょう。
- 海の近くにいる時は、高台などの安全な場所に素早く避難しましょう。

⑦ 正しい情報 確かな行動

- デマにまどわされず、ラジオやテレビ、消防署、役場などから正しい情報を得ましょう。

⑧ 確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

- 家族の安全を確認後、近隣の安否を確認しましょう。

⑨ 協力し合って 救出・救護

- 町内会で話し合っ、援護や救護が人の支援を行いましょう。

⑩ 避難の前に 安全確認

- 避難が必要なときには、ブレーカーを落とし、ガスの元栓を開けて徒歩で避難しましょう。